

・7次総計の方向性を踏まえる

- ➔ 効率的で効果的な行政サービスの執行と健全な財政運営に努めるとともに、時代の変化と地域課題に応じた市政運営を推進します。
また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、様々な媒体を通じて広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。

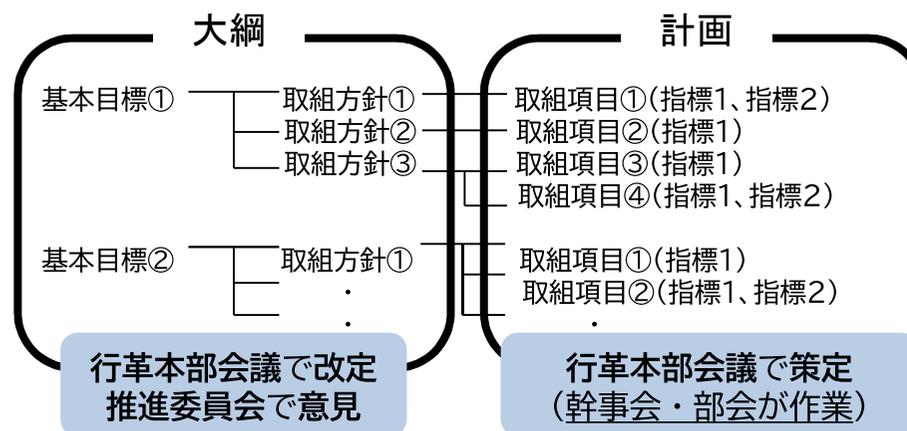
【R5.8.21時点 まちづくり政策「9 計画推進」より】

・現大綱の令和3年度時点の成果指標の達成度を勘案する

- ➔ 初期値と比較して向上していない分野について、継続的に取り組むこととする。

・現大綱の構造を基本とする

- ➔ 大綱には「基本目標」と「取組方針」、計画には「取組項目」を定め、相関関係がわかるよう紐づける。



・基本目標をシンプルに2本立てとする

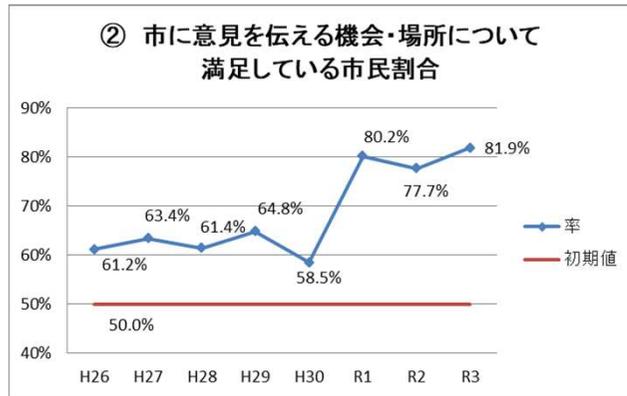
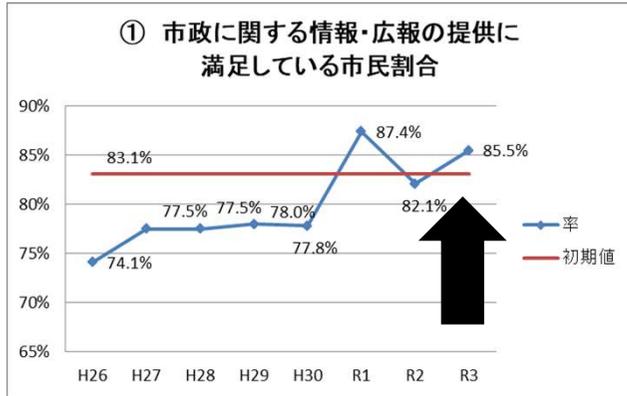
- ➔ 大きく2本立てとし、行革の基本となる「行政組織・運営」と「財政」に集約する。

・取組方針の策定にあたり

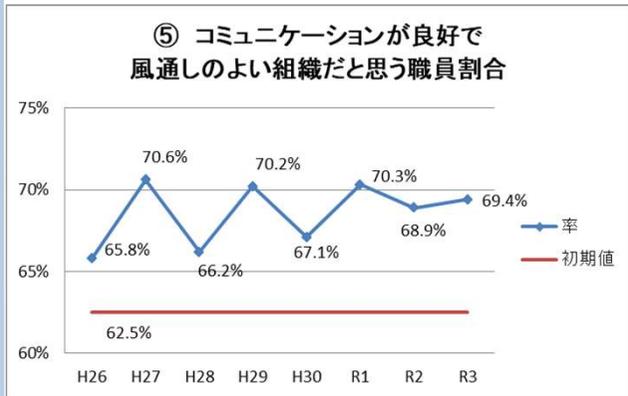
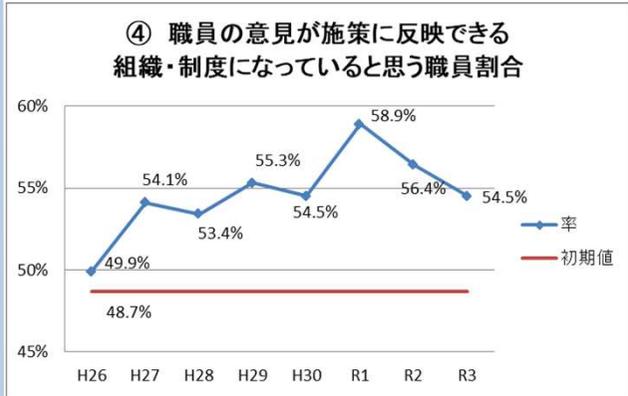
- ➔ 職員の意見を取り入れる。(行革部会の設置、庁内意見募集など)
- ➔ デジタルは目的ではなく手段として取り入れる。
- ➔ 文言の陳腐化(時代遅れになる)の可能性のあるものは、取組方針ではなく取組項目へ

現 大綱の成果指標の経過

【基本目標1】市民参加と協働による行政運営



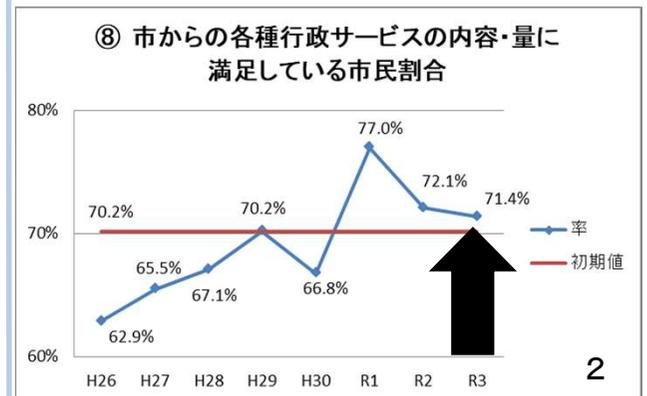
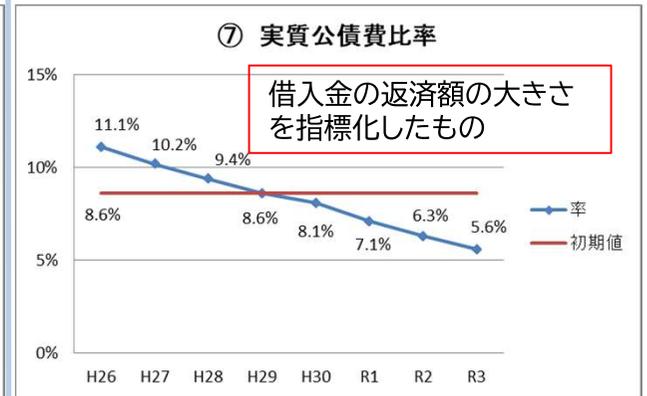
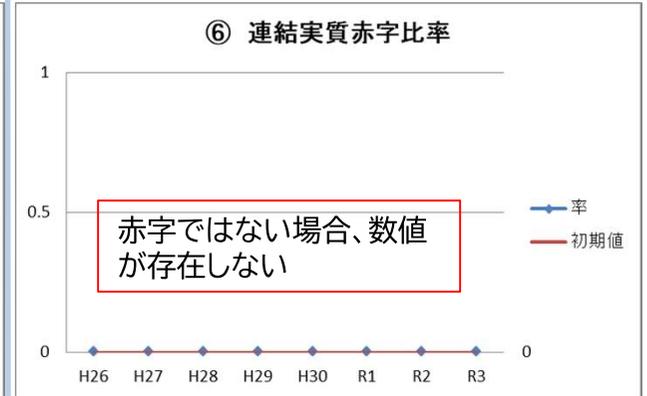
【基本目標2】意識と能力の高い職員による柔軟な行政運営



・令和3年度時点では、全ての指標において、初期値を上回っているか、維持している。

→初期値からの上昇度合いが低いと思われる①と⑧の指標について、継続指標とし、取組方針に反映したい。

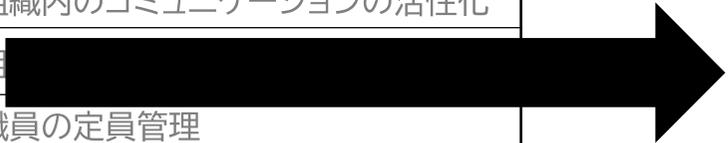
【基本目標3】健全な財政と行政サービスの向上を両立させた行政運営



現大綱と新大綱(案)の比較 ~基本目標~

現大綱	
基本目標	取組方針
1 市民参加と協働による行政運営	(1)情報共有の推進
	(2)市民
	(3)協働
2 意識と能力の高い職員による柔軟な行政運営	(1)優待
	(2)職員
	(3)職員
	(4)組織内のコミュニケーションの活性化
	(5)組
	(6)職員の定員管理
	(7)災害対応力の高い職員の育成と組織づくり
	(8)外部委託化の検討
3 健全な財政と行政サービスの向上を両立させた行政運営	(1)財源の確保
	(2)長期的視点に立った公共施設の在り方の検討
	(3)業務分析による事務等の簡素化
	(4)行政評価の充実
	(5)広域化の検討
	(6)窓口サービスの向上

基本目標を3つから「2つ」へ「行政組織・運営」と「財政」に集約



新大綱(案)	
基本目標	取組方針
時代に即した効果的で効率的な行政運営	1 情報共有の推進
	2 市民参加機会の充実と協働の推進
	3 人材育成の充実
	4 働きやすい環境づくり
	5 効率的な組織体制
	6 窓口サービスの向上
	7 業務効率化の推進
健全で安定した財政運営	8 財源の確保
	9 公共施設のあり方の検討
	10 事務事業の見直し
	11 公民連携手法の検討
	12 広域連携の推進

現大綱と新大綱(案)の比較 ~取組方針~

